

1 研究課題名

国内流行 HIV 及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究

2 研究期間

令和 6 年 10 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日

3 研究機関

本研究は多機関共同研究として実施します。薬剤耐性 HIV 調査ネットワークは、全国の HIV 薬剤耐性動向把握を目的とした研究組織です。詳細については、薬剤耐性インフォメーションセンター (<http://www.hiv-resistance.jp>) をご参照ください。

研究代表者：国立感染症研究所エイズ研究センター 菊池 正

共同研究機関：薬剤耐性 HIV 調査ネットワーク参加施設

- ・国立感染症研究所
- ・国立病院機構名古屋医療センター
- ・その他ネットワーク参加機関

4 実施責任者

福岡県保健環境研究所 生活化学課 中村麻子

5 研究の目的

この研究は、HIV 感染症における薬剤耐性の実態を正確に把握することを目的としています。福岡県内の公設 HIV 検査所で実施される無料・匿名 HIV 検査の検体から得られた HIV 遺伝子配列データを収集・解析し、県内における薬剤耐性 HIV の動向と推移を把握します。さらに、HIV の詳細なウイルス遺伝子配列を調べることで、県内におけるウイルスの流行・伝播パターンを明らかにします。

福岡県で得られた研究成果は、全国の HIV 薬剤耐性動向調査の基礎データとなり、我が国全体の薬剤耐性 HIV 対策の重要な情報として役立てられます。この情報は薬剤耐性 HIV 症例の発生抑制や予防対策、HIV 感染症を克服するための基礎研究に役立てることができます。なお、この研究で用いる全ての血液検体は既に匿名化されており、個人を特定することは一切ありません。

6 研究の方法

この研究では、平成 16 年 4 月 1 日から令和 11 年 3 月 31 日の期間に、福岡県内の公設 HIV 検査所で実施される無料・匿名 HIV 検査に用いられた血清及び血液検体の残余分を用いて、HIV 遺伝子配列の解析を行います。また、年齢、性別、検体の種類、検査実施年、HIV 確認検査結果の情報を収集し解析に用います。この解析では薬剤耐性の有無やウイルスの流行・伝播パターンを検体に関する情報と合わせて分析を行います。得られた結果の一部は個人が特定されることのない形で国立感染症研究所と国立病院機構名古屋医療センターへ提供され、全国の HIV 薬剤耐性動向調査および分子疫学研究に使用されます。また、HIV 遺伝子配列の一部は公的データベースに公開される場合がありますが、個人を特定できる情報は含まれません。

7 個人情報の取り扱い

この研究で用いる全ての血液検体は、当所搬入時にすでに個人を識別できないよう加工されているため、検体提供者（無料匿名の HIV 検査受診者）は個人を特定されることはありません。また、検体は当所搬入時にすでに個人を識別できないよう加工されているため、特定の方からの結果の開示や削除を求められてもご希望に沿うことができませんのでご了承ください。

8 お問い合わせ先

福岡県保健環境研究所 生活化学課

〒818-0135 福岡県太宰府市大字向佐野 39

電話：092-921-9946

9 その他

本研究参加による直接的な利益はありません。この研に関して、開示すべき利益相反は一切ありません。